

## 有明海沿岸道路

## 佐賀への延伸に向けて筑後川橋※に着工

※橋梁名称は仮称です。

有明海沿岸道路は、有明海沿岸地域の陸海空の広域交通ネットワークを形成し、未来を創る高速道路です。国土交通省福岡国道事務所が整備・管理する福岡県区間では、現在までに約7割にあたる 19.3km が開通しており、平成 29 年度には徳益～柳川西IC間 4.5km が開通し、沿線4市が高速道路で直結する予定です。

更に、今回は佐賀への延伸に向けて、筑後川橋の工事に着手することになりましたのでお知らせします。はじめに、デ・レイケ導流堤上に設置する橋脚（福岡県大川市）の工事を行います。

なお、起工式を執り行う予定としておりますので、具体的な内容等が決まり次第、改めてお知らせします。



筑後川橋の完成イメージ

【筑後川橋の着工予定日】 平成 27 年 2 月 21 日（土）

筑後川橋は、橋梁延長が約 450m の鋼アーチ橋です。デザインコンセプトは、「デ・レイケ導流堤や昇開橋と共に筑後の水文化を継承する橋」としており、色彩は昇開橋など周辺の風景を踏まえ“淡い桜色”、吊り材は大川組子細工といった地域性等を踏まえクロス配置にしています。また、土木遺産であるデ・レイケ導流堤上での橋脚工事に際しては、内部構造等の調査を行うとともに、解体した導流堤の一部を保存する予定です。



デ・レイケ導流堤上に設置する橋脚(P6)

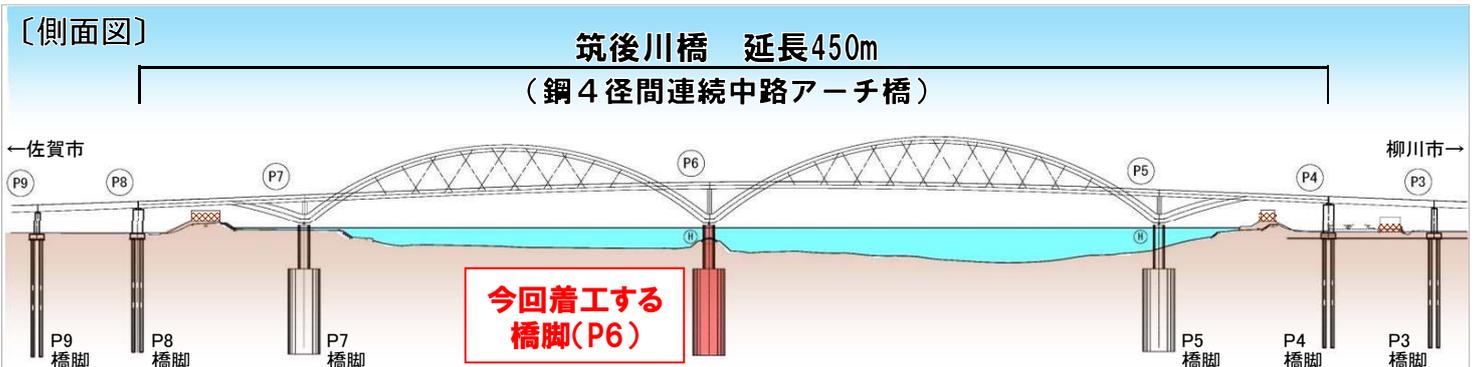
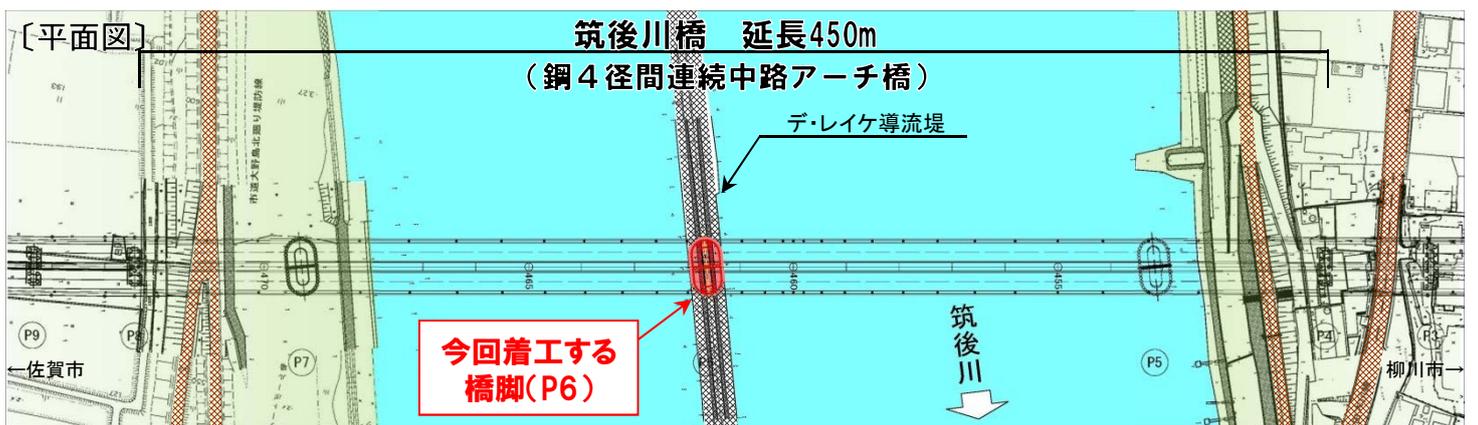
問い合わせ先:

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話:092-681-4731(代表)

技術副所長 やまぐち たかし 山口 隆(内線 204) 工務課長 いとう ひろかず 伊藤 浩和(内線 411)E-mail: [fukkoku@qsr.mlit.go.jp](mailto:fukkoku@qsr.mlit.go.jp) URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

# 有明海沿岸道路と今回着工する筑後川橋

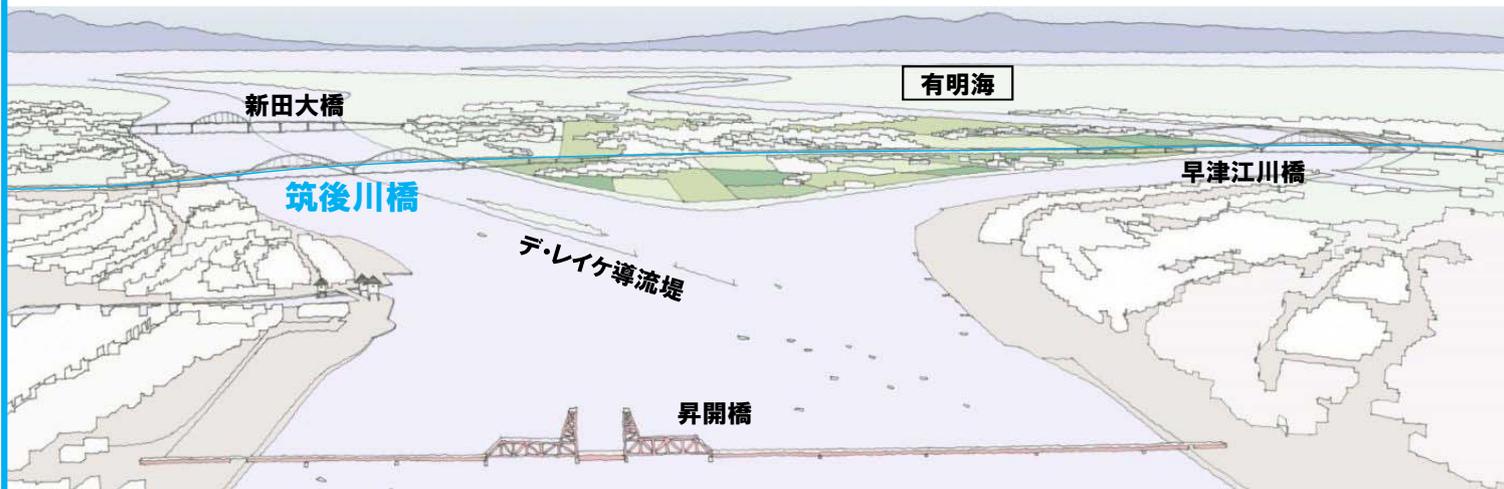
- 有明海沿岸道路は、有明海沿岸地域の「陸海空の広域交通ネットワーク」を形成し、「未来を創る」高速道路です。平成20年3月の初開通以降、現在までに全体（福岡県内）の約7割にあたる19.3kmが暫定2車線で開通しています。平成29年度には、有明海沿岸道路の徳益～柳川西IC間4.5kmが開通予定。これにより、今まで一般道を介して接続していた福岡県内沿線4市の大牟田市、みやま市、柳川市、大川市が高速道路で直結します。
- 更に、福岡から佐賀への延伸についても、大川東ICから順次工事を進めており、筑後川を跨ぐ「筑後川橋」を平成27年2月21日に着工します。



# 筑後川橋のデザイン

## 1. デザインコンセプト 「デ・レイケ導流堤や昇開橋と共に、筑後の水文化を継承する橋」

地域のシンボルである昇開橋などの歴史遺産や平坦で広がりのある田園・河口景観などの周辺風景と調和した姿や、デ・レイケ導流堤が作り出す筑後川の水文化への敬意が重要と考えました。



水平基調で緩やかなアーチの曲線形状により、河川を軽やかに渡っている軽快感があり、広々とした周辺景観に調和し、またデ・レイケ導流堤上の橋脚高を低くでき圧迫感を軽減できる「**鋼アーチ橋**」を選定しました。

## 2. 色彩のデザイン

橋梁の色彩は、筑後川や昇開橋など周辺風景を踏まえた赤～橙色を基調とし、夕日に美しく染まる「**淡い桜色**」としました。

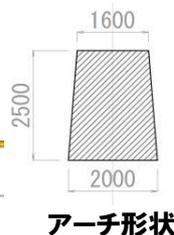
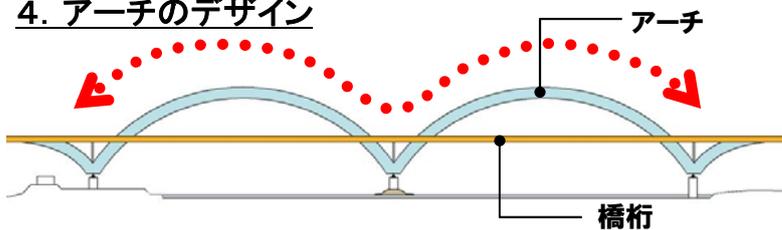


## 3. 吊り材のデザイン



筑後川橋は直線橋の2連アーチ橋であることから、吊り材の配置を「**クロス配置**」とし、アーチと吊り材により面として見せることで横への広がりのあるリズム感やリズムカルを創出するとともに、大川市で盛んな「**大川組子細工**」などの地域性も表現しました。

## 4. アーチのデザイン



筑後川橋は2連のアーチが特徴であるため、「**アーチ形状を台形断面**」にし、アーチシルエットを強調させ、2連のアーチが軽やかに河川を渡るように、伸びやかさを創出しました。

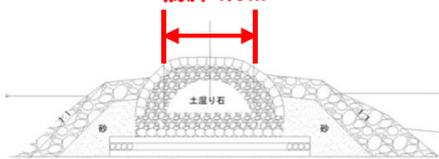
## 5. P6橋脚のデザイン

導流堤の機能・形・歴史的価値を尊重したデザインとしました。

### ○機能の尊重

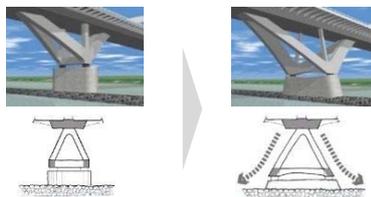
・導流堤の水制機能を阻害しないように、橋脚は導流堤の幅以下としました。

橋脚4.5m



### ○形に対する尊重

・橋脚高さを低くした上で、導流堤になじむ台形断面としました。



### ○歴史的価値の尊重

・導流堤の価値を引き立てるため、**シンプルなコンクリート仕上げの橋脚デザイン**としました。

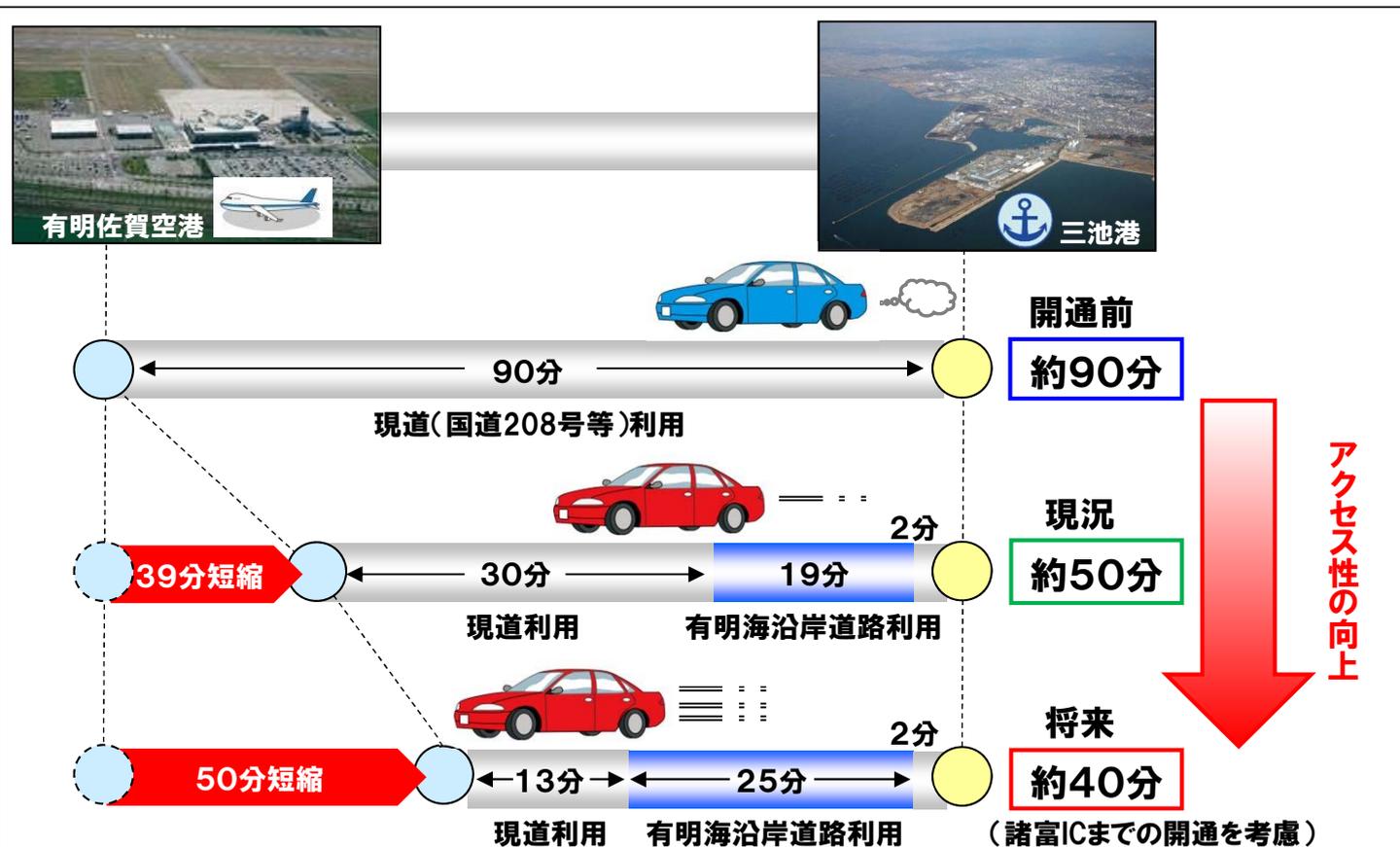


# 三池港と有明佐賀空港間の時間が半分以下に短縮

■ 有明海沿岸道路の整備により、広域物流拠点である三池港(福岡県大牟田市)と有明佐賀空港(佐賀県佐賀市)間の所要時間が90分から40分へと半分以下に短縮され、物流の効率化や沿線地域産業の活性化が期待されます。



## ■ 三池港と有明佐賀空港の所要時間の変化 ■



※走行速度の考え方

開通前はH17道路交通センサスの混雑時平均速度(km/h)、現況はプローブデータの混雑時平均速度(km/h)、将来は現道をプローブデータの混雑時平均速度(km/h)、有明海沿岸道路を70km/h(暫定2車開通時)で算出